

発行：八戸市立市川中学校地域学校連携協議会  
校長：馬渡教二 会長：小向龍悦

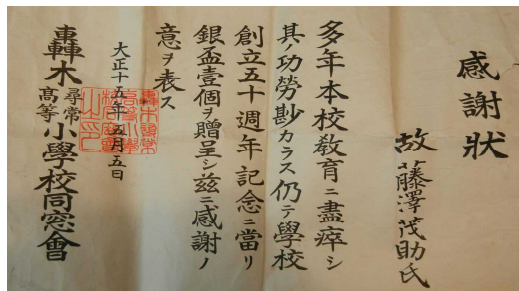
## 明治初期のすぐれた学校：「<sup>しも</sup>下市川小學」と「轟木小學」②

### 【Ⅰ】<sup>はやしちゆうぞう</sup>下市川小學初代校長：林忠蔵の略歴

- ・文政10年(1827)、会津若松に生まれる。・藩校の**日新館**では、子どもの教育にあたる。
- ・その後抜擢されて藩の役人になり、藩主に謁見できるような階級までのぼった。
- ・慶応4年(1868)の**会津戦争**では、家老の参謀として従軍。越後方面に出陣して功績あり。
- ・長男の八十治は、**白虎隊員**として**鶴ヶ城**を望む**飯森山**にて自刃。享年16歳。

### 【Ⅱ】<sup>ふじさわ も すけ</sup>轟木小學初代校長：藤澤茂助の略歴

- ・天保2年(1831)会津若松に生まれる。・嘉永6年、ペリー来航時は品川沖砲台詰
- ・高島流砲術家 ・江川塾の塾頭 ・日新館の教師補 ・**会津藩砲術指南役**
- ・**京都守護職師範大砲方頭取** ・丹波福知山砲術指南役 ・**会津戦争の大砲隊長**
- ・明治3年、会津藩士1万7千余人と斗南藩に移住。刀を鋤に代えて開墾。生き抜く。



轟木小藤澤茂初代校長への感謝状



多賀小創立140周年式典会場正面(11/21)

(市川で一番歴史の古い学校が多賀小)

### 【Ⅲ】日新館と市川地域の小中学校

会津の藩校・日新館の教育目標は人材の育成で、藩士の子どもたちは、**学問・武芸・心身の鍛錬(文武)**に励みました。その日新館はあまたの英才を生み、その流れを受け継いだのが**林忠蔵の下市川小學**であり、**藤澤茂助の轟木小學**だと思います。その後、**桔梗野小・市川中・多賀台小**が開校し、市川中は馬渡教二校長のもと、「**文武両輪と絆のシャフト**」で多くの成果を上げています。

最後に、我が市川地域の五つの小中学校は、日新館の精神を受け継いでいるのではないかと、私は思っているところです。卒業生に市川の未来を託しつつ……。 (3)

八戸市立市川中学校地域学校連携協議会教育コーディネーター：木村 隆一

参考資料：「とどろき百年」「聞き書き多賀の百年」「白虎隊事跡」「会津藩 斗南へ」  
藤澤茂登家 資料 奈良孝次郎「初代轟木小校長 藤澤茂助のはなし」  
小川真「轟木小學初代校長・藤澤茂助」ほか

